

| 科目分類 | 養護教諭課程 | | | 開講学科 | 看護学科 | | | | | |
|--|---|---------|----|------|-------|--|--|--|--|--|
| 科目番号 | 学年 | 配当セメスター | 区分 | 単位数 | 授業時間数 | | | | | |
| 14007 | 3 | 後期 | 選択 | 1 | 15 | | | | | |
| 授業科目名 (英文) | 特別活動の指導法 (Study on Special Activities) | | | | | | | | | |
| 担当教員名 | 小谷 彰吾 | | | | | | | | | |
| 授業の概要及び到達目標 | | | | | | | | | | |
| <p>概要</p> <p>特別活動の目標や内容を学習指導要領によって明らかにし、その意義や指導原理について理解を促す。</p> <p>さらに教師として身につけておくべき実践的指導力の育成にむけ、授業研究、キャリア教育の模擬体験、評価演習等を実施する。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>到達目標</p> <p>集団活動を通して心身の調和のとれた発進と個性の伸張を図り、自主的・実践的な態度を育てると共に、人間としての生き方に対する自覚を深め、自己を生かす能力を高めるのを目標とするのが、特別活動である。響きあう教育課程、価値ある感動体験、集団の中で折り合いをつける指導について実践例や学生自身の経験をもとに追求する。</p> | | | | | | | | | | |
| <p style="text-align: center;">準備 学習 等</p> <p>授業は講義形式で行う。授業内容は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回：「特別活動」の成立、特別活動の内容 第2回：学級活動 第3回：児童・生徒会活動 第4回：学校行事 第5回：クラブ・部活動 第6回：校外研修の意義、ボランティア活動 第7回：特別活動の現状と未来 第8回：まとめ <p>特別活動は、受講生も経験してきているはずであるが、「特別活動」という内容であることを実感していないので、その体験を基に実践的な例を解説し、「特別活動」の意義について解説する。</p> <p>同時に現在の教育現場が抱えている諸問題についても考察していく。また養護・栄養教諭が直面している問題についても、「特別活動」の一環として考えていく。講義形式なので、授業の中で理解することが要求される。現在抱えている教育の問題点については、新聞報道などで関心を持つことが予習であり、教育の現場に立った際には何が要求されるが、授業内容をよく理解した上で、自ら考えることが復習の学習である。</p> | | | | | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 成績評価の方法 | 課題レポートによって評価する。50% ディスカッションへの参加など意欲態度によって評価する。50% |
| テキスト | とくになし。 |
| 参考図書 | 文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別活動編」 文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別活動編」 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 特別活動編」 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> ・オフィスアワー：質問等は授業終了後、教室で受け付ける。 ・課題に対するフィードバックの方法 レポートについて添削後返却するので、振り返り学習に活用する等、 良く復習すること。 |
| 授 業 計 画 | |
| <p>第1回：特別活動の目標、意義、変遷</p> <p>第2回：学級活動・学校行事</p> <p>第3回：生徒会活動・クラブ活動</p> <p>第4回：特別活動と生徒指導</p> <p>第5回：特別活動と体験学習</p> <p>第6回：特別活動と教師力・学校力</p> <p>第7回：特別活動と各教科・特別の教科 道徳・総合的な学習</p> <p>第8回：特別活動と教育課程（総括）</p> | |